

笑顔創造

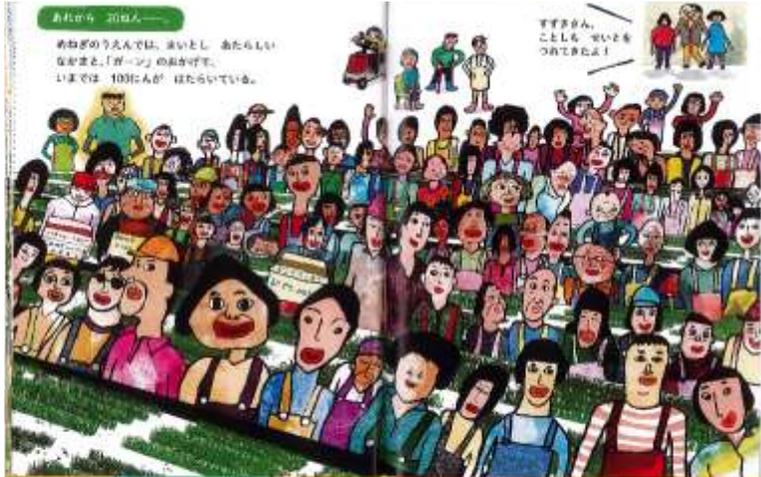
Smile creation

第5号



「めねぎのうえんのガ・ガ・ガーデン！」より：合同出版

発行日 2023年7月1日
発行元 京丸園株式会社
代表取締役 鈴木厚志
〒435-0022
静岡県浜松市南区鶴見町 380-1
E-mail kyomaru@ck.tnc.ne.jp
URL <https://www.kyomaru.net>



「めねぎのうえんのガ・ガ・ガーデン！」より：合同出版

こんな農園になりたい

私には夢があります。老若男女が活躍できる農園!! 高齢者や障がい者であっても「働きたい!」という意欲のある人達の力を借りることができビジネスとして成立する農園です。高齢や障がいの壁を無くし生きがいを感じられる職場があったらいいと思いませんか?

どうすればできるのか? 何が必要なのか? とずっと考えて来ました。ユニバーサル農業を実践し 29 年となり自分も 60 歳を目の前にして大事なものが言葉に表せるようになりました。大事な要素は何か? と尋ねられたら「優しさ」と答えます。最初のころは機械化やシステムづくりが重要だと思っていましたがそれだけでは目指す農園にはなりませんでした。

職場の中で歳をとっていくということは、できないことがだんだんと増えて行くということです。その時、周りの人達がどう声掛けするか? 「なんでみんなと同じ仕事ができないの?」と指摘するか「身体が大変な仕事は私達がやるからね」と、言えるかだと思うのです。「仕事だから」「同じ給料なら一緒になければ」と、言い出せば高齢者や障がい者は職場を離れて行くと思います。

自分ではどうしようもない歳をとることや障害を自分のことに置き換えて考えられる「優しさ」が働き場にも必要だと思うのです。綺麗ごとだ言う人もいますが、そうなんです! どうせなら綺麗に仕事をしたいと思うのです。だれも倫理的に悪い仕事をして儲けようとは思っていませんよね。

働き場を多様な人達が活躍できる場にする。そして強い経営体をつくり出すために「優しさ」について着目して行きます。お蔭様で現在、最高齢者 87 歳、最年少者 16 歳 102 名が働く農園になりました。

優しさは効率をあげる

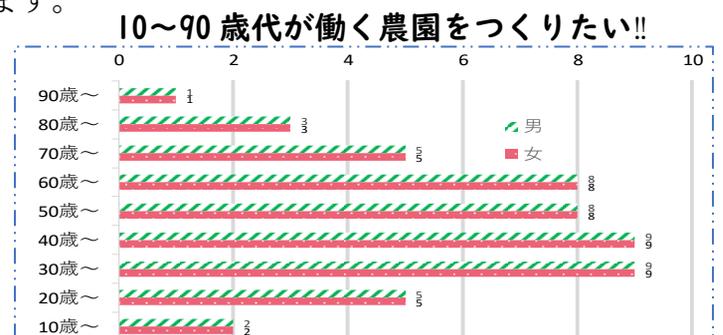
初めて障がいのある人が農園実習に入った時の話です。「障がいのある人とは働きたくない」と、言われたらどうしよう。「障がい者のある人がいじめられたら」どうしようと心配していました。

しかし、一緒に働く仲間は、彼らの困りごとを察して声がけしてくれたり、作業に手を貸してくれたり、改善提案してくれたりしてくれました。そんなが、優しくなった感じがしました。みんなの行動によって、お互いが気づかうことで場の雰囲気が和らぎました。

すると驚くことに作業場全体の作業効率が上がったのです!! 私は、「優しさ」と「効率化・ビジネス」という言葉は無関係だと思っていたのですが間違いでした。

一緒に働く仲間への心配り、人の憂いを自分のことのように思う心は組織力を強くするのだと学びました。

私達は、歳をとると今まで出来たことがだんだん出来なくなっていくます。その時、「仕事ができない人」と、捉えるのではなく「どうしたらより安全に安心して働けるだろうか」と、知恵を絞る優しい農園でありたいと思います。



~ 今月の活動 ~

- 7月5日 静岡県立農林環境専門職大学
- 7月11日 札幌心療福祉専門学校
- 7月15・16日 静岡経営塾
- 7月18日 秋田県次世代農業経営者ビジネス塾
- 7月20日 静岡県立磐田農業高等学校
- 7月21日 徳島県農業会議・徳島県農業法人協会
- 7月29日 日本福祉大学

◎参加できます!

7月14日金曜日 浜松建設的な生き方を学ぶ会(京丸園)

19:00~21:00 開催場所:京丸園

オリジン・コーポレーション 杉井保之氏をお招きしての勉強会です。参加費 1,000 円 事前連絡をお願いします。

今月のことば

人の憂いを

自分のことに思う

優しい人になりたい